

平成30年度 第3回大阪府立吹田高等学校学校運営協議会

- 日 時 平成31年2月27日(水) 午後6時～8時
- 場 所 本校会議室
- テーマ ～平成30年度の総括と平成31年度に向けて～
- ・平成30年度学校経営計画の達成状況と自己評価について
  - ・平成31年度学校経営計画(素案)について

○出席者(敬称略、委員は50音順)

村田 徹・会長 大阪薫英女学院中学校・高等学校 校長  
古賀 千枝子 本校PTA 会長  
島田 雅弘 吹田市立片山中学校 校長  
土井 実 鳳志会(本校同窓会) 副会長  
林 宏昭 関西大学経済学部 教授  
眞鍋 眞 本校 校長

○事務局

井上 薫(事務長)、磯原 健志(首席)、門野 正太(首席)

○議 事

- ・平成30年度 学校経営計画(到達状況 2/25時点)について
- ・平成31年度以降の学校経営の方向性について
- ・その他・意見交換

○委員から出された主な意見

【学校生活関係】

- ・遅刻数は、総数だけでなく、個人別の頻度等もみていく事が必要。
- ・授業規律について、教員側からの要求レベルによって達成度合いは変わる。教員間でのレベルを共有すべき。

【進路、進学関連】

- ・進学ニーズは進学や就職等と分かれているので、それぞれの希望に対しての指標とする方が判りやすい。
- ・有名大学等への進学者を出しているという誇りは、進学者以外の生徒にも波及、自信にもつながる。鳳志会で手伝えることがあれば声をかけていただきたい。
- ・新しい進学クラスの実施にあたって、1年生で何をさせるのかのツメが重要。それを校内で共有して全体で目標に向かっていってほしい。
- ・進学クラスの選択を2年生で行うのは、1年猶予期間となっていていいのではないか。

- ・進学講習を曜日別とかで実施できればなお良い。
- ・就職希望の生徒についても学力を引き上げる手立てを講じて頂きたい。経済面での支援方法を伝達するなど願う。
- ・進級に対しての保護者の関心も高い。
- ・それぞれの生徒が希望する進路の実現に向けて取り組んでいただいている。

